

## 地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和8年3月31日 (第2回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	長井市 (06209)
地域名 (地域内農業集落名)	時庭地区 (町屋敷、田仲、波華、波化、水口、向)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

## (1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	169.1 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	157.6 ha
② 田の面積	163.4 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	5.4 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	17.8 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	17.5 ha
(参考)区域内における80才以上の農業者の農地面積の合計	4.6 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	0.4 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における80才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

## (2) 地域農業の現状及び課題

当地区は市南部の白川左岸に位置する水田地帯であり、水稻を中心に大豆や枝豆、行者菜、南瓜などの生産が行われている。しかし、農業従事者の高齢化や後継者不足が進んでおり、今後は遊休農地の増加が懸念される。このため、持続的な農地利用を図るためには、担い手への農地の集積・集約を進めるとともに、新規就農者の確保・育成や地域住民等も含めた地域全体で農地を支えていく体制の構築が課題となっている。

また、地域農業の維持・発展に向けては、新たな作物の導入や栽培方法の検討など、多様な農業経営の展開を図る必要がある。

【地域の基礎的データ】  
農業者48人(うち50歳以下2人)、団体経営体:1経営体(従業員等:5人、主な作物:水稻、大豆、枝豆、行者菜、南瓜)

## (3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

年間を通じた安定的な農業経営の確立とリスク分散を図るため、冬期間の収入確保につながる作物の導入を検討する。また、地域特産作物である行者菜については、有機農業の取組みを段階的に進めるとともに、農地の集積・集約を進めながら生産体制の強化を図る。

さらに、農作業の効率化を図るため、スマート農業技術の導入を進めるとともに、品目拡大による経営の安定化を図る。加えて、自然災害等のリスクに備えた事業継続計画(BCP)の活用を進め、地域と担い手が連携しながら農地を維持していく体制づくりを進める。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地バンクへの貸付けを進めながら、担い手(認定農業者、農事組合法人ファーム豊里)への農地の集積・集約化を基本とし、農作業の支障がない範囲で地域の農業者による農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	87.2	%	将来の目標とする集積率
			90 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
担い手が利用する農地は、現在8か所で平均1.5haとなっている。 今後は団地数の削減と団地面積の拡大を進め、農地の集団化を図る。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手(認定農業者、農事組合法人ファーム豊里)を中心として農地の集積・集約化を進めるとともに、分散している農地の解消を図る。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
地域の農地を農地中間管理機構経貸付け、農地バンク事業を活用しながら、目標地図に基づき段階的に農地の集積・集約化を進める。
(3) 基盤整備事業への取組
平成18年に経営体育成基盤整備事業により区画が整理され、大区画化及び暗渠排水が整備されている。今後は既存基盤の適切な維持管理を行う。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
農業生産法人等を中心に、新規就農者の育成や6次産業化、伝統野菜の生産などに取り組み、地域農業を担う多様な経営体を育成する。また、移住者等による新規就農者の受け入れを進め、地域の担い手確保につなげる。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
農作業の効率化を図るため、委託作業は法人等へ委託するとともに、ブロックローテーションによる団地化を進め、遊休農地の発生防止を図る。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)									
<input checked="" type="checkbox"/>	①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/>	②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/>	③スマート農業	<input type="checkbox"/>	④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/>	⑤果樹等
<input type="checkbox"/>	⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/>	⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/>	⑧農業用施設	<input type="checkbox"/>	⑨耕畜連携等	<input checked="" type="checkbox"/>	⑩その他

【選択した上記の取組内容】
①タヌキ、ハト、カラスなどによる被害拡大を防ぐため、防護ネットの設置や捕獲体制の整備を進める。
②地域特産の行者菜を中心に、有機農業への転換を段階的に進める。
③AIなどの情報機器を活用したスマート農業技術の導入を検討し、農作業の効率化を図る。
⑧担い手の経営状況を踏まえ、出荷・調整施設など農業用施設の集約化を進める。
⑩みどりの食料システム戦略の取組みを進め、環境負荷の軽減や食育の推進などを行う。



4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
1	認農	水稲、大豆、露地野菜	3.5 ha	ha	水稲、大豆、露地野菜	12.1 ha	ha	38	
2	認農	水稲、大豆、露地野菜	6.9 ha	ha	水稲、大豆、露地野菜	1.0 ha	ha	21	
3	認農	水稲、露地野菜	0.9 ha	ha	水稲、露地野菜	0.9 ha	ha	6	
4	認農	水稲、WCS	7.4 ha	ha	水稲、WCS	9.6 ha	ha	24	
5	認農	水稲	2.6 ha	ha	水稲	2.4 ha	ha	25	
6	認農	水稲、畜産	0.1 ha	ha	水稲、畜産	0.2 ha	ha	34	
7	認農	水稲、大豆、露地野菜	77.6 ha	ha	水稲、大豆、露地野菜	99.9 ha	ha	43	
8	認農	水稲	0.5 ha	ha	水稲	0.5 ha	ha	44	
9	認農	水稲	2.7 ha	ha	水稲	2.3 ha	ha	3	
10	認農	水稲、大豆、露地野菜	3.0 ha	ha	水稲、大豆、露地野菜	2.6 ha	ha	22	
11	認農	水稲	5.1 ha	ha	水稲	4.7 ha	ha	45	
12	到達	水稲	2.3 ha	ha	水稲	2.3 ha	ha	37	
13	到達	水稲、大豆、枝豆	0.2 ha	ha	水稲、大豆、枝豆	0.2 ha	ha	4	
14	到達	水稲、露地野菜	0.4 ha	ha	水稲、露地野菜	0.2 ha	ha	13	
15	到達	水稲	0.5 ha	ha	水稲	0.5 ha	ha	41	
16	利用者	水稲	1.2 ha	ha	水稲	0.2 ha	ha	40	
17	利用者	水稲	0.8 ha	ha	水稲	0.4 ha	ha	18	
18	利用者	水稲	0.5 ha	ha	水稲	0.6 ha	ha	1	
19	利用者	水稲	0.2 ha	ha	水稲	0.2 ha	ha	20	
20	利用者	水稲	0.0 ha	ha	水稲	0.0 ha	ha	16	
21	利用者	水稲	2.0 ha	ha	水稲	1.8 ha	ha	10	
22	利用者	水稲	1.0 ha	ha	水稲	1.0 ha	ha	8	
23	利用者	水稲	0.3 ha	ha	水稲	0.3 ha	ha	19	
24	利用者	水稲	0.4 ha	ha	水稲	0.2 ha	ha	17	
25	利用者	水稲	1.1 ha	ha	水稲	1.2 ha	ha	26	
26	利用者	水稲	0.0 ha	ha	水稲	0.0 ha	ha	15	
27	利用者	水稲	2.1 ha	ha	水稲	2.5 ha	ha	36	
28	利用者	水稲	0.1 ha	ha	水稲	0.6 ha	ha	14	
29	利用者	露地、施設花き	0.7 ha	ha	露地、施設花き	0.9 ha	ha	2	
30	利用者	水稲	0.1 ha	ha	水稲	0.1 ha	ha	29	
31	利用者	水稲	3.3 ha	ha	水稲	3.3 ha	ha	42	
32	利用者	露地野菜	0.2 ha	ha	露地野菜	0.0 ha	ha	35	
33	利用者	水稲	4.2 ha	ha	水稲	0.0 ha	ha	33	
34	利用者	水稲	4.3 ha	ha	水稲	0.2 ha	ha	32	
35	利用者	水稲	0.1 ha	ha	水稲	0.0 ha	ha	39	
36	利用者	水稲	0.1 ha	ha	水稲	0.2 ha	ha	31	
37	利用者	水稲	0.1 ha	ha	水稲	0.1 ha	ha	27	
38	利用者	水稲	0.1 ha	ha	水稲	0.2 ha	ha	30	
39	利用者	水稲	0.0 ha	ha	水稲	0.0 ha	ha	11	
40	利用者	水稲	0.0 ha	ha	水稲	0.0 ha	ha	28	
41	利用者	水稲	0.2 ha	ha	水稲	0.2 ha	ha	12	
42	利用者	水稲	0.2 ha	ha	水稲	1.0 ha	ha	7	
43	利用者	水稲	1.3 ha	ha	水稲	1.3 ha	ha	5	
44	利用者	水稲	0.1 ha	ha	水稲	0.1 ha	ha	23	
45	利用者	水稲	0.1 ha	ha	水稲	0.0 ha	ha	9	
46	利用者	水稲	9.1 ha	ha	水稲	9.1 ha	ha	46	